



響

~ KOURU ~

流

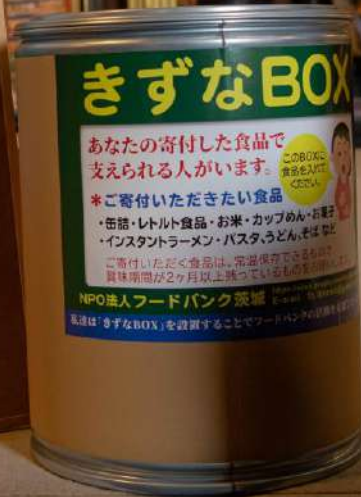
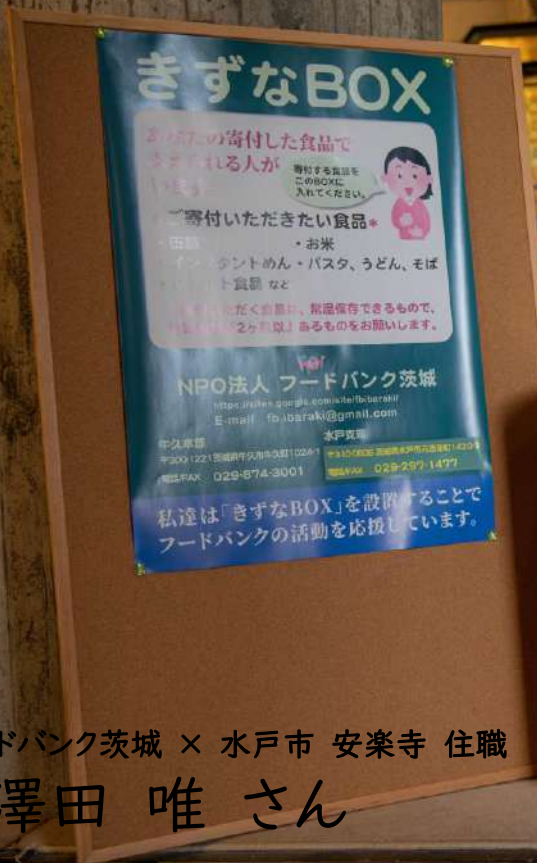
わげんあいご
和顔愛語

日本3名瀑のひとつ「袋田の滝」は四季ごとに違った姿を現す。冬には滝が凍り付く「氷瀑」を見ることができ、その姿はまるで時間が止まったかのように荘厳でありながら、山間部の自然の厳しさも伝えてくれる。

氷瀑は自らの力で溶け出すことはできない。春のぬくもりが訪れるまでじっとその姿をとどめる。それは人のこころと少し似ている。冷たい言葉を投げかけられれば、こころはギュッと凍り付く。その心を和らげてくれるのは、春のよくな温もりある言葉だ。同じ水でありながら環境が変われば姿を変えるように、私のこころも絶えず姿を変える。あたたかな言葉を聞き、柔軟なこころを持ち、またあたたかな言葉を伝える。そんな人でありたい。春の訪れを待つ氷瀑を見ながらそのような事を思わされた。

ひたちなか市清心寺増田廣樹

ひと



NPO 法人フードバンク茨城 × 水戸市 安楽寺 住職

澤田 唯 さん

「NPO 法人フードバンク茨城」でフードロス×支援拡大に取り組み、

安楽寺住職の澤田唯さんにお話を伺いました。

フードバンク茨城とはどのような活動をしているのでしょうか？

フードバンク茨城は、生産者や小売業者、個人や行政組織から食品を寄贈していただき、社会的支援を必要とする人達に食事提供をしている非営利活動団体や個人に食品を届けることを目的として活動しています。企業様からは、消味期限の近い災害備蓄品や販売時期を過ぎた季節性の食品等をご寄贈頂き、個人の方からは、市役所や公民館、スーパー等に設置してある「きずなBOX」、学校や職場やイベント等に家庭に余っている食品を持ち寄る「フードドライブ」にておすそわけ頂きます。

年配の方はもちろん、子育て中の方や大学生高校生も参加しているNPOです。ちなみに安楽寺でもBOXを設置していて、御門徒さんや地域の方が家庭で食べきれない食品を持ってきてくださったり、農家さんがお米をご寄贈くださいます。

集めた食品をどういう所に配っているのでしょうか？

食品は、炊き出しやフードパントリー（食料配布）、学習支援を行う生活支援団体、児童養護施設や母子家庭協会等の社会福祉協議会系の団体に届けています。また、少数ですが生活困窮者に直接お渡しすることもあります。ガスが使えるか、子供がいるか等の相手の属性や要望に応じて、お渡しする食品を調整しています。

もしご家庭に食べきれない食品がございましたらお近くのきずなBOX等にご支援ください。（食品賞味期限3ヶ月以上・お米・古米まで）

活動のきっかけは？

善導大師の観經四帖疏に「学仏大悲心」という言葉があります。これは、仏陀（縁起に目覚めた者）の大悲（喜びや痛みを共に受け取る）心を学ぶ（真似る）という意味です。仏教は先祖供養の教えでも国家安泰の祈りの教えでもなく、智慧から生じる慈悲心を実生活において行動に移すところに自他ともに心豊かな社会が実現されていくという教えです。

私たちは怒りや妬み、愚かさといった自己本位な心を持っています。そんな自らの心で自らを縛り他者を縛り拘束された社会を作り苦しみを生んでいきます。そのような私たちに「愛欲と憎しみを超えた怨親平等の浄土へ目覚めよ」という呼び声が阿弥陀如来という本願力であり、「南無阿弥陀仏」のお念仏です。



Profile

さわだ たかし
澤田 唯

平成2年生まれ。
妻と女の子の3人家族。

自らの業によって地獄を作っていく私たちに浄土を指し示され自縛から解放してください（お救いください）如来の大慈悲に感謝しつつ、少しでも仏意にかなった生き方をしたいです。



伝えたいことはありますか？

コロナの影響で仕事を失った方が再就職までの間に資金が尽きてしまい、一か月分の食料を求められることがありました。数か月後、その方から手紙が届き「あの時は本当に助かりました、おかげで再就職が決まり、給料ができました。少ないですが他の困っている方を助ける活動に使ってください。」という手紙と共に五千円送られてきたことがありました。誰かの想いは誰かに伝わり広がっていくのだと感じ、とても嬉しかったです。

ですので、より多くの方に、この活動を知ってほしいです。そして、この社会には多くの助けがあること、困っている方の力になりたいという人たちがたくさんいるということが伝わると良いと思います。

後記

社会の中で見落とされがちで、辛さ苦しさを抱える人々を、支えたいと活動するフードバンク茨城。今回澤田さんからお話を聞いて、どのような方であっても見捨てないと思いつけている人たちがいることを知りました。

自身を振り返ってみてどうか。自分さえ良ければいいという自分勝手な心に気づかされます。すべての命が救われないなら私は仏にならないと誓われた如来様のお心を聞いてゆきたいと思いました。

聞き手：行方市 豊安寺 板敷諒



おうせきざん しょうれんじ 皇跡山 青蓮寺



常陸太田市の青蓮寺は親鸞聖人直弟子24輩の一人「性證房」所縁の寺院だ。その歴史は古く、天智天皇9年(670年)に後の天武天皇が訪れ同年まで約3年間過ごしたお堂を前身とする。鎌倉時代初期にはお堂の跡地に後鳥羽上皇の皇子の一人である周親親王が皇跡山極楽院瑞巖寺という天台寺院を開山、その後、幕府御家人の畠山重忠の次男 重秀が常陸国を行脚中に親鸞聖人と出会い帰依、性證と名を改め建保6年(118年)当寺を専修念仏の寺院として整備しなおし青蓮寺と改めた。

御本尊の阿弥陀如来立像は鎌倉時代に制作された御木像で像高53cm、光背102cm、春月作であり、昭和46年(1971年)に茨城県指定重要文化財に指定されている。青蓮寺本堂は、江戸時代中期に再建されたもので瓦葺屋根の寄棟造で歴史を感じさせ、墓股(梁下部)に彫り込まれた菊の御門は天智天皇のご旧跡を示している。寺宝として親鸞聖人御絵像や性證房の木像などを所有しており、毎年10月に行われる常陸太田市の指定文化財特別公開の際はその他の寺宝も併せて拝観できる。

又、当寺には「二孝女伝」という江戸時代の話が伝わる。
浄土真宗の篤信な門徒であった豊後国臼杵藩(大分県臼杵市)の川野初衛門は豊後から常陸に親鸞聖人の御旧跡参拝でやってくる。しかし青蓮寺門前にて病が悪化し帰れなくなり青蓮寺に住むこととなる。



7年後、青蓮寺住職が京都の本願寺で豊後国の住職と出会いこの話をしたところ、臼杵の2人の娘の知るところとなり、2人は父に会う為、苦難の道のりを2ヶ月かけて青蓮寺までやって来る。その父思いの姿が臼杵藩や水戸藩の共感を呼び、3人揃って無事に帰郷できたのであった。この話は臼杵市で語り継がれ小学校の校歌にもなっている。

豊後国二孝女関係資料(17点)は常陸太田市指定文化財に指定され、常陸太田市と臼杵市は姉妹都市となっている。現在のご住職は昭和36年東海村生まれの藤井智氏。

青蓮寺は先代の住職が亡くなられた後20年近く住職が不在で廃寺の危機に瀕していた。
藤井氏は県内のガラス関連会社に勤めていたが縁あって平成11年に入寺。家族を説得して移住した。当時の青蓮寺は締め切っており畳も蒸けていたが、ご住職の懸命な活動と門信徒の篤い思いが合わさり現在の活気ある寺院へと変貌した。

尚、現在の住所である東連地町は以前は東蓮寺町(東蓮寺は青蓮寺の別名)であったが廃仏毀釈の折に政府の政策で漢字を変更された。
聞き手・水戸市安楽寺 澤田唯

常陸太田市指定文化財 集中曝露
10月第3週土日

親鸞聖人報恩講 10月29日

茨城東組広報誌『響流』第十五号
二〇二三年三月発行
発行/浄土真宗本願寺派茨城東組実践運動
〒三一三〇一三
常陸太田市久米町二〇一 正念寺内
編集/茨城東組 阿闍世の会